

野沢温泉学園

地域支援センターだより 第1号

令和4年7月7日 発行：野沢温泉学園地域支援センター

夏の日差しに山の緑が一層深く、濃くなってきました。自然のエネルギーを感じるこの季節も素敵だなと思います。

さて、野沢温泉学園地域支援センターは、学園の教育活動を支援する「地域につくられた応援団」です。こども園・小中学校と家庭・地域が一体となって子どもたちの育ちに向かうことができるように、それぞれの「ニーズ(必要なこと)」と「願い・思い」をつなぐ役割をしています。

主役はもちろん、学園の子どもたちと村のみなさん。共に活動したり、支援していただいたりする中で、たくさんの笑顔が見られたり、みんなが元気になれたらいいなあ、と願っています。このお便りですの姿をお伝えしていきます。どうぞよろしくお願いいたします！

「のざわの時間」(小学校クラブ活動)

4年生以上の子どもたちが楽しみにしている「のざわの時間」。今年は子どもたちの要望にこたえて、「あけびづる」「リズムダンス」「写真・パソコン」「ニュースポーツ」「ペーパークラフト」「木工」と6つのクラブが開設されました。講師はもちろん村の方々です。今回はそのうちの3つのクラブを紹介します。



写真・パソコンクラブ:校庭撮影会。「これどう?」「いいね。近くのもの撮る時は『マクロ』を使うといいよ。」



あけびづるクラブ:「少し湿らせて。ゆっくりやる。」先生の手元を食い入るように見つめています。



木工クラブ:椅子製作に挑戦。「曲がっちゃう。」「釘を打つときは真上から見て。」アドバイスをもらって再挑戦!

教科の授業ではなかなかできないことに挑戦し、夢中になって活動する子どもたち。あっという間の70分間でした。活動は月に2回。10月まで計7回の予定です。

「つつじ山植樹」(中学1年生総合的な学習の時間)



中学1年生は、3年後に自分は村のために何ができるかを考えられる生徒に育ててほしいとの願いから、今年は総合的な学習の時間で「活動を通して村のことを知る」ことを大切にしています。「おせっ会」のみなさんから「つつじ山の植樹するけど、来るかい?」って声をかけていただき、6月10日に一緒に活動することになりました。

百番観音が佇むつつじ山は、つつじの株が古くなったり雑木

の勢いが勝ったりで、以前のように花がつかなくなってしまうそうです。何とかしたいと思っていたところ、県内企業からつつじ苗 300 本の寄贈をいただき、植樹することとなりました。当日は、野沢組惣代さんと「おせっ会」のみなさん等、大勢の方々が参加され、多くの方々の思いのある活動であることが伝わってきました。

暑い中、汗を流して活動した生徒からは「つつじがきれいに咲いて、たくさんの人に見てもらえるといいと思う」「自然いっぱい野沢温泉にしたい」の声が聞かれました。共に活動することを通して、生徒たちは村の方々の思いに触れることができたようです。



「バルーンで遊んだよ」(こども園)

6月23日、支援ボランティアさんがクラウンになって未満児クラスに登場！初めて出会うクラウンの姿に最初はおっかなびっくりの子どもたちも、目の前で次々とバルーンが作り出されると大喜び。大きな笑顔になりました。年長のお友達も「ぼくたちのところにも来る？」と楽しみにしています。ちょっと特別で素敵な時間をプレゼントしていただきました。ありがとうございました。



『夢の旅行』を企画しよう」(中学2年生 英語授業)



中学2年生の英語では見たい場所や食べたい物を盛り込んだ夢の旅行企画を英語で作成しています。7月5日、村在住のクリスさんとお友だちの方々がゲストティーチャーとして来てくださいました。生徒たちは、3人の出身国、アメリカ、イギリス、リトアニアのオリジナル旅行プレゼンを熱心に聞いていました。また、質問タイムでは、イギリスではフィッシュアンドチップス以外にインド料理のカレーが人気だと知り、日本のご飯と一緒に食べるのか等、質問を重ねる生徒もいました。英語を使って世界を知り、世界とつながる楽しい授業でした。授業後も名残惜し気な生徒たち。もっともっと話したかったようです。ゲストティーチャーのみなさん、今後どうぞよろしくお願いいたします。(文責 藤村)



支援センターでは、野沢温泉学園(こども園・小中学校)の支援ボランティアを随時募集しています。できることをできる時間にできる範囲でお手伝いいただけたらありがたく思います。興味関心のある方は、下記までお問い合わせください。

支援内容: 校外活動・散策付き添い、家庭科のミシン・裁縫支援、図画工作の学習支援 等

連絡先: 野沢温泉学園地域支援ボランティアセンター(野沢温泉村教育委員会内)

担当: 藤村 TEL:85-3115